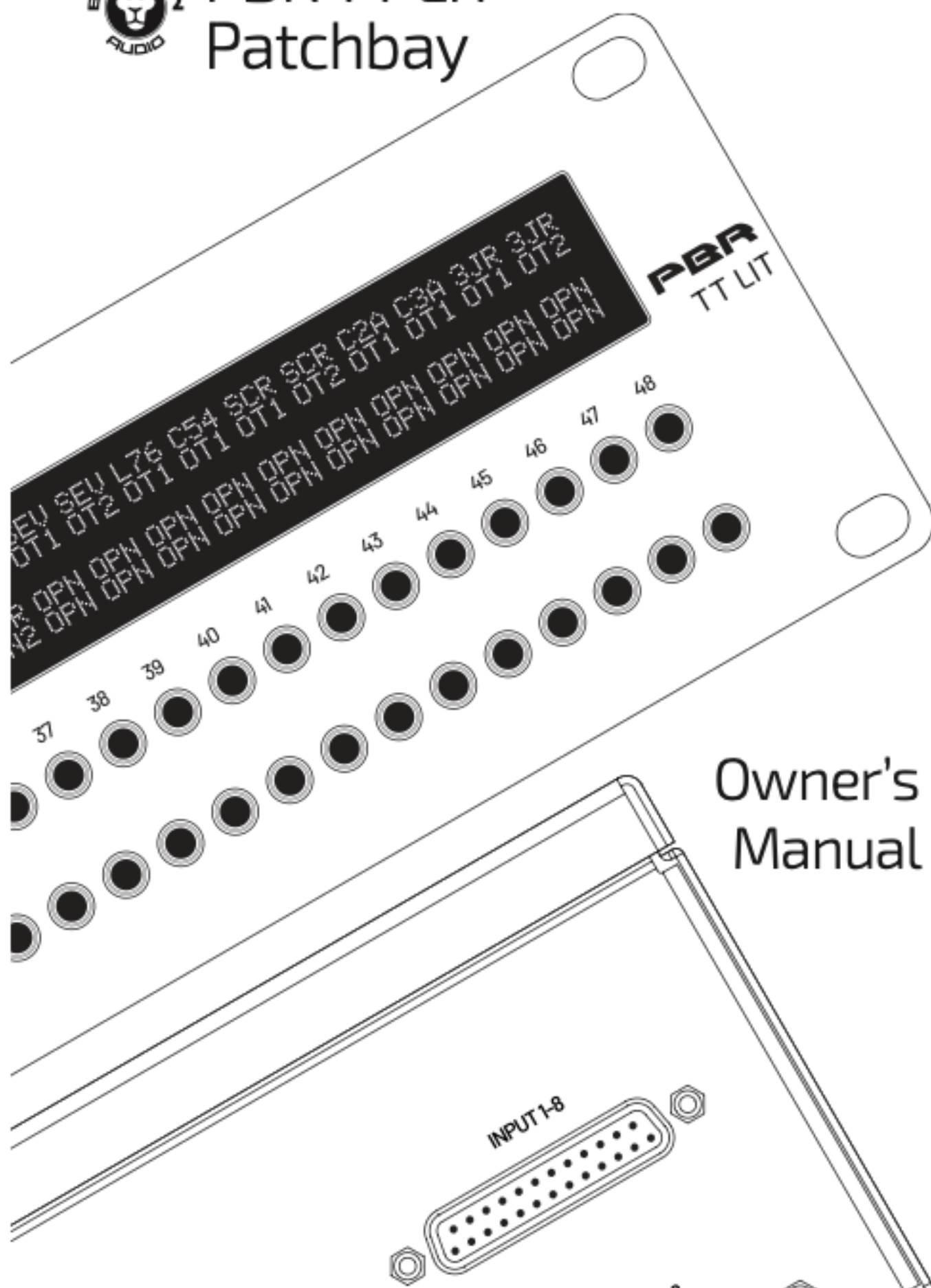




PBR TT LIT Patchbay



Owner's
Manual

重要な安全注意事項

1. この取扱説明書をよくお読みください。
2. この取扱説明書は必ず保管してください。
3. すべての警告表示に従ってください。
4. すべての操作手順に従ってください。
5. この装置を水や湿気の近い場所で使用しないでください。
6. 乾燥した布で拭くこと以外、清掃しないでください。
7. 製造元の指示に従って取り付けしてください。
8. ラジエーター、ヒーター、ストーブ、その他の熱を発生する装置の近くには取り付けしないでください。
9. 製造元が指定した付属品/アクセサリのみを使用してください。
10. 雷雨時または長期間使用しない場合は、この装置に接続のプラグを抜いてください。
12. 修理は資格を有するサービス技術者に依頼してください。装置が損傷を受けた場合（コネクタの損傷、液体のこぼれや装置への異物の落下、雨や湿気にさらされた場合、正常に動作しない場合、または落下させた場合など）は、修理が必要です。
13. この装置は水滴や飛沫にさらさないでください。また花瓶など液体が入った物を装置の上に置かないでください。
14. 本マニュアルで明示的に承認されていない変更または改造は、本装置の使用権限を無効にする可能性があります。



本製品は、適用されるすべての RoHS/WEEE 欧州連合指令に準拠しています。

この製品を自分で修理または分解しないでください。そうした場合、保証が無効になります。

製品を受け取った際は、必ず製品を慎重に点検し、製品に不具合がある場合は、直ちに購入店舗へ連絡してください。

製品保証について：

本製品の保証は日本国内の正規販売店よりご購入の最初の購入者が対象となります。

保証期間はご購入から 1 年間で、材料および製造上の欠陥に対して保証されます。

サービスまたは保証に関するお問い合わせは、この製品を購入した販売店を通じてご連絡ください。

ご連絡の際、製品名及びシリアルナンバー、購入日の確認できる物（販売店発行のレシートなど）をご用意ください。

ただし、以下の場合は保証対象外となります。

- ・本マニュアルに記載されている注意事項に反する設置や使用を行った場合
- ・取り扱い時の過失による損傷や故障
- ・風水害、地震、火災、落雷などの天災や、郊外などの外的な要因による故障
- ・海外で使用された際の故障
- ・当社サービス部以外による修理や部品交換または改造による損傷や故障
- ・接続した他の機器に起因する故障
- ・付属のアクセサリ以外の使用による損傷や故障
- ・お買い上げ後の運搬、移動時の落下等で生じた故障及び損傷
- ・商品名やシリアル番号の記載されたシールを改変または故意に剥がした形跡のある製品
- ・特定の機器と接続したときのみ発生する動作不具合

この保証は譲渡できません。

製品が不正使用により損傷または欠陥が生じたと判断した場合、当社は修理費用を顧客に請求する権利を有します。

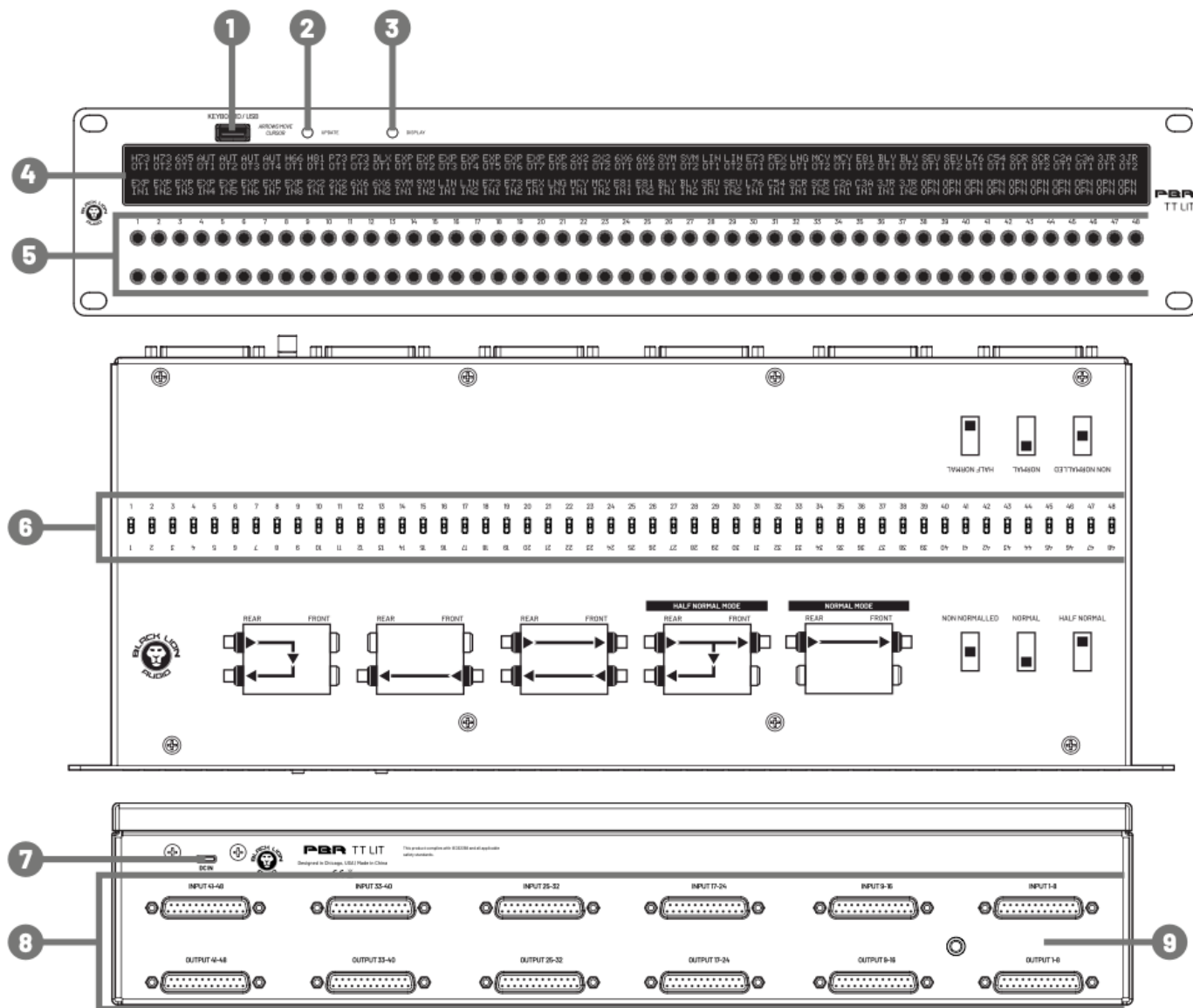
当社及び BlackLionAudio は、製品の使用により発生した不都合、製品の使用不能、時間の損失、操作の中断、商業的損失、またはその他の損害（偶発的、結果的、その他の損害を含む）に基づくいかなる損害についても責任を負いません。

各部詳細

PBR TT LITは、スタジオ機器用に96点の接続ポイントを提供し、お気に入りの機器の常時接続とルーティングを可能にしながら、柔軟で創造的なパッチングにも対応します。

PBR TT LIT パッチベイは、ノーマル、ノンノーマル、ハーフノーマルの動作モードを、ユニットの上部からモジュールごとに切り替えることができます。“モジュール”とは、パッチベイ上に垂直に配置されたジャックのセットを指し、前面にTT、背面にはDB25が配置されています。

一般的なパッチベイの構成では、各機器の出力はパッチベイの背面上部に接続され、各機器への入力とは背面下部に接続されます。例えば、ディレイユニットやコンプレッサーからの出力をパッチベイの背面上部にある DB25 入力に接続し、ディレイへの入力とは背面の DB25 出力に接続します。



1. USB ポート：USB キーボードを接続して LED ディスプレイを変更するための接続端子
詳細については「LED ディスプレイのカスタマイズ」を参照してください。
2. 更新ボタン：LED ディスプレイの変更を確定するために押します
3. 表示ボタン：LED ディスプレイのオン/オフを切り替えるために押します。
4. LED ディスプレイ：カスタマイズしたテキストを表示します。「1 行 3 文字」
5. バランス TT 接続端子：TT(バンタム)ジャックに対応し、オーディオ機器の接続とルーティングが可能です。
バランス接続に対応しています。

6. ノーマライズモード変更スイッチ:

各モジュールのルーティングをノーマル、ノンノーマル、ハーフノーマルの間で切り替えます。

スイッチが上 = ハーフノーマル

スイッチ中央 = ノンノーマル

スイッチ下 = ノーマル

7. 電源接続: 5V USB-C コネクタ (電源専用)

8. DB25 接続。DB25 接続 (ブレイクアウトケーブルで 8 チャンネル) に対応し、外部機器の入力/出力に接続可能です。一般的な接続方法は、上段の接続端子を機器の出力に、下段の接続端子を機器の入力に接続します。

9. 接地端子。外部機器に接地線を使用して接続し、接地ループによるノイズを防止します。

寸法:

19" x 6" x 3.5" (48.3cm x 15.2cm x 8.9cm(2U))

重量:

2.3 kg (5 ポンド)

LED ディスプレイのカスタマイズ

PBR TT LIT LED ディスプレイの文字は、キーボードを接続する事で編集可能です。(英数字)

PBR TT LIT の LED ディスプレイは、1 ポートあたり最大 6 文字を表示可能で、1 行あたり 3 文字です。

編集方法：

1. USB ケーブルまたはワイヤレス/Bluetooth レシーバーを使用して、キーボードを PBR TT LIT に接続します。
接続後、PBR TT LIT の最初のセルが点滅し、パッチベイが編集モードであることを示します。
2. 矢印キーを使用して、編集したいセルを素早く選択できます。現在選択されているセルは継続的に点滅します。
Enter キーを押して、現在選択されているセルの編集を開始します。
3. キーボードを使用してテキストを入力します。TAB または Enter キーを押して、次のセルに移動します。
4. 入力が完了したら、[Update]ボタンを押します。これにより編集内容が記憶されます。

TT パッチベイ内の信号の流れ

パッチベイモジュール内の信号の流れは、物理的な接続とモード設定（ノーマル / ノンノーマル / ハーフノーマル）の両方に影響されます。

パッチベイの前面では、上部ジャックはパッチベイからの出力、下部の接続はパッチベイへの入力となります。

同じチャンネルのパッチベイモジュールの背面上部と背面下部にジャックが接続されている場合、背面上部ジャックから入力された信号は、背面下部の出力に直接通過します。(ノーマル/ハーフノーマル モード時) 図1

この接続方式は、ハードウェアの「デフォルト」つまり日常的に信号が流れるチャンネルに使用する方式です。

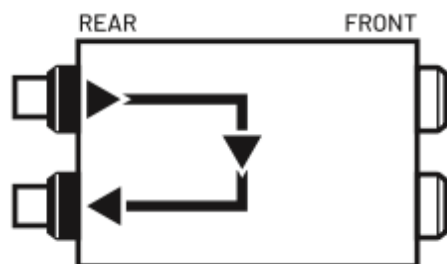


Fig. 1

上部接続端子にジャックが接続されていない場合、前面下部入力からの信号が後部下部出力に通過します。

(全てのモード共通) 図2

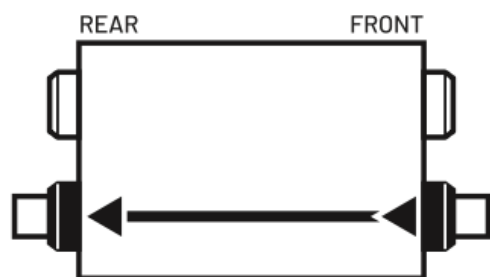


Fig. 2

※背面、前面全てのジャックが接続されている場合、背面上部の入力に接続された信号は前面上部の出力に伝送され、前面下部の入力から入力された信号は後部下部の出力に伝送されます。(モードに関係なく) 図3

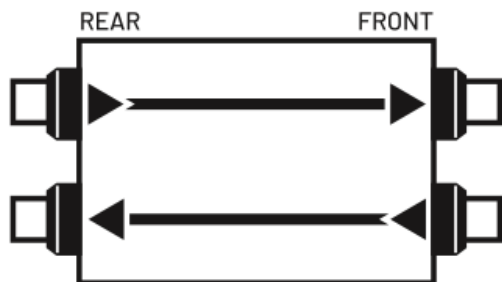


Fig. 3

ノーマライズ設定

「ノーマルモード」

モジュールが「NORMAL」に設定され、

背面上部と前面上部のジャックに接続されると、信号は背面上部から前面上部へ通過し、図 1 の背面の上下間接続が切断されます。 図 4

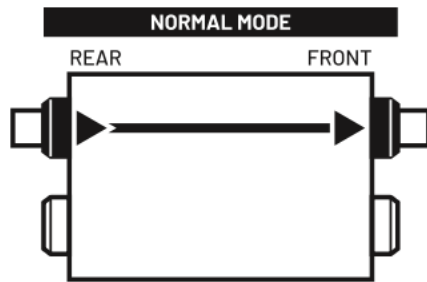


Fig. 4

ノーマルモードでは、パッチベイの前面側にパッチケーブルを接続することで、複数のデバイスを直列に接続する場合に便利です。

例えば、マイクプリアンプ（背面上部）からコンプレッサー（背面上部）へ直列で信号を送る場合などです。

背面の上下間の接続は、前面上部にケーブルが接続されると、その接続が切断されます。

「ハーフノーマルモード」

モジュールが「HALF NORMAL」に設定され、背面上部、背面下部、前面上部のジャックが接続された場合、信号は背面上部から前面上部と背面下部の 2 箇所へ通過し、図 1 に示された接続を断つことなく伝送されます。図 5

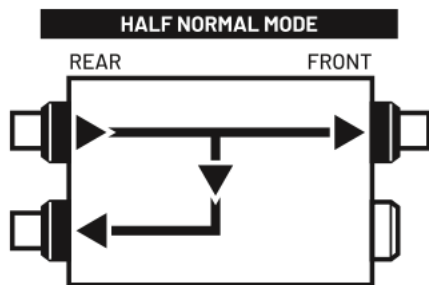


Fig. 5

これにより、パッチベイをスプリッターとして使用でき、背面上部に入力された信号を 2 つの異なる出力先に送信できます。これは、信号の並列処理やモニタリングアプリケーションに非常に便利です。

ハーフノーマルモードの前面下部ジャックにケーブルを挿入すると、後部の上下ジャック間の接続が切断されます。

（全てのジャックが接続されているので 図 3 の状態）

「ノンノーマルモード」

別名「オープン」。「NON NORMALLED」では、ジャックの上段と下段は一切接続されていません。

このモードに設定されたモジュールは、信号を前面から背面、または背面から前面に直接通過させますが、垂直方向（上下間）には通過しません。デバイスが自動的に接続されないようにしたいセットアップに便利です。

※ノーマライズの使用方法が少し難しい方には「ノンノーマルモード」をお勧めします。

注意事項

USB ポート

PBR TT LIT の USB ポートは、コンピュータへの直接接続には対応していません。

ファンタム電源

パッチベイ経由でファンタム電源を供給することはおすすめしません。

これにより、ファンタム電源に対応していないデバイスにファンタム電源が供給される可能性があり、高額な損傷が発生する可能性があります！

パッチベイ経由でファンタム電源をルーティングする場合、

接続を変更する前に必ずファンタム電源の電源をオフにしてください。

この手順を怠ると、プラグの挿入または抜去時に不平衡短絡が発生し、ハードウェアプロセッサの入カトランジスタを損傷したり、リボンマイクのトランスフォーマーやリボンを損傷する可能性があります。

DB25 配線規格

PBR TT LIT パッチベイは Tascam DB25 配線規格を採用しています。

一部のオーディオ機器ではヤマハ規格が使用されています。他の DB25 ハードウェアのドキュメントを確認し、互換性を確認してください。

オーディオケーブルの選択

以下のブランドのオーディオケーブルは動作検証を行い安全かつ信頼性を確認しています。

Hosa、Mogami、Rean、Neutrik、および RedCo

マニュアルの注意事項

このマニュアルは、Black Lion Audio PBRTT-LIT の使用に関する一般的な情報、使用前の準備、インストール手順、および操作方法について説明しています。

このマニュアルに記載されている情報は、予告なしに変更される場合があります。

当社及び Black Lion Audio は、本マニュアルに含まれる誤り、または本資料の提供、履行、使用に起因する直接的、間接的、付随的、または結果的な損害について、一切の責任を負いません。

ATdistribution

AT distribution / ソリッドステートロジックジャパン株式会社

東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-55-14

<https://atdistribution.net/>